

卒業論文作成について

皆様の卒業まで残り10ヶ月ほどとなりました。今回は私が卒業論文を作成したときの体験や反省点を踏まえて少しでも皆様の卒業論文執筆の手助けになれるようにお話させていただきます。

はじめに

- ・現段階で一番重要なことは早めに取り掛かること。

題目を決める

- ・自分の興味がある点などを、先生や先輩に相談して決める。
どこに興味があるか分からない、タイトルがまったく決まらないという方は、とりあえず自分の興味のある本を読んでみる。真宗の本でなくてもよい。そのうえで、興味を持ったところを先生や先輩に相談してタイトルを考える。

資料を集める

- ・テーマが決まって資料を集める段階になったら、卒論用にノート、ワードの文章などを一つ用意する。
検索した文献の情報、読んだ論文の概要、思いついたことの走り書きなど、卒論に関係することは全てそこにメモする。どんな些細なことでもよい。それらのメモは、論文を書いて悩んでしまった時などに読み返すと、役に立つ可能性がある。

卒業論文執筆

- ・アウトライン機能を使ってみる。
- ・自分が書いた文章は不要だと思っても、削除せずに別に保存しておく。
- ・書式設定は出来るだけ早く済ませる。
- ・データのバックアップは作業が終わるごとに複数としておく。←最重要。
最低、自分のPC、学校のPC、USBメモリー の三ヶ所には保存する。
自分のPCから自分宛にメールを送るのもおすすめ。

卒業論文完成後

- ・提出まで何度も見直す。
- ・提出したら、口述試問に向けて質問に答えられるように準備する。
せっかく卒業論文を書き上げても、口述試問で全く答えられなければ卒業できない。そうならないためにも、提出後も口述試問までの間、卒業論文の内容を確認する。

終わりに

学生生活最後の大事なとも言える卒業論文です。卒業後、多くの方が社会に出ると思います。社会に出てしまっただけからでは、これほど一つのことに集中して、本を読むことも、文章を書くことに没頭する機会も無いと思います。焦る必要はありませんが、甘く見ずに、可能な限り早めに、出来ることからこつこつと始めて下さい。